

2026年5月26日

株式会社電通デジタル

電通デジタル、AI 対話型でデジタル広告ダッシュボード分析を サポートする「Execution Agent」の提供を開始 -プランナーの実践知を学習した AI により 企業の広告運用業務を高速化-

株式会社電通デジタル（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：瀧本 恒 以下、電通デジタル）は、AI を活用したマーケティングソリューションブランド「∞AI[®]（ムゲンエーアイ）」[※]において、マーケティングコミュニケーション施策における一連のプロセスをAIエージェントとの対話により実現する「∞AI MC Planning」に、デジタル広告のダッシュボード分析をAIとの対話形式で行う新機能「Execution Agent」を追加し、提供を開始します。

∞ AI MC Planning

デジタル広告運用において、BI ツール（ビジネスインテリジェンスツール）を活用したダッシュボードの導入が進んでいます。一方で、ダッシュボード上のデータを正確に読み解き、適切な効果改善を実行していくには、担当者の経験やスキルに依存する部分が多く、分析のクオリティや対応スピードにばらつきが生じやすいという課題があります。また、レポート作成業務の属人化は、人材育成にかかる時間の長期化や、報告までのリードタイムの長期化にもつながり、PDCAサイクルの高速化を阻む要因となっています。

このような課題を解決するために、ダッシュボード上でのAIとの対話によってデジタル広告データの分析をサポートする「Execution Agent」を開発しました。これまで数多くのデジタル広告運用・レポート作業を行ってきた当社のプランナーの実践知を学習したAIによって、担当者の経験やBIツールの習熟度に依存することなく、データの背景まで踏み込んだ高度な示唆を、誰でも一定のクオリティで導き出すことが可能になります。

【「Execution Agent」の特長】

① プランナーの実践知を学習したAIエージェントによる高品質な分析

デジタル広告の運用・レポート作成を数多く担ってきたプランナーの知見やノウハウを言語化し、AIが学習しています。集計内容や出力形式を固定することで、いつ・誰が実行しても同様のアウトプットが得られ、分析クオリティのばらつきの解消と高度化を実現します。

② 対話形式で選択肢を提示し、初心者でも目的に沿った分析が可能

AI と対話しながら、分析したい指標や粒度を選択するだけでレポートを生成できます。「全体評価」「獲得効率」「誘導効果」の3つの指標について、AI からの選択式の質問に対して回答してだけで目的に沿った分析が完了します。ダッシュボードの経験が少ない担当者でも即座にレポート化できる操作性を実現しています。

今後も電通デジタルは、「∞AI」をはじめとした AI ソリューションによるクライアントの内製化支援を強化し、企業の事業成長に貢献してまいります。



国内電通グループは“人間の知 (=Intelligence) ”と“AI の知”の掛け合わせによって、顧客や社会の成長に貢献していく独自の AI 戦略「AI For Growth」を推進しています。

AI For Growth については、以下ウェブページをご確認ください。
https://www.dentsu.co.jp/labo/ai_for_growth/

※：「∞AI」について <https://www.dentsudigital.co.jp/services/data-ai/mugen-ai>

以 上

<電通デジタルについて> <https://www.dentsudigital.co.jp/>

電通デジタルは、国内最大規模の総合デジタルファームです。「人の心を動かし、価値を創造し、世界のあり方を変える。」をパーパスに、生活者に寄り添うクリエイティビティとテクノロジーを統合的に活用することで、あらゆるトランスフォーメーションを実現しています。クライアントの事業成長パートナーとして、共に新たな価値を創造することで、経済そして社会の「変革と成長」を目指しています。

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル コーポレートコミュニケーション部

北川・宮本 Email : press@dentsudigital.co.jp

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル データ&AI ソリューションセンター

∞AI MC Planning 事務局 Email : mugen-ai-planning@group.dentsu.co.jp